opusdei.org

## 聖ホセマリアの生涯 - 78

神父の生まれ故郷であるバルバストロ市は当人に相談することなしに、1971年メインストリートに「エスクリバーをデ・バラゲル通り」の名前をつけ、1974年には市の勲章を授与することに決めます。

2025/09/01

## 過去の記事はこちらから

聖ホセマリアは小さい時から目立つ ことが嫌いで、大人になってからも

「自分は隠れ、キリストのみが輝 くしことをモットーとしていました が、1960年代には国際的に知られた 教会人になっていました。このころ 欧米の大手の新聞社が取材を申し込 んできました。また創立者とゆかり のある町では、町の通りや広場に聖 ホセマリアの名前をつけようとする 試みがありました。打診されれば、 いつも丁寧に断られるので、神父の 生まれ故郷であるバルバストロ市は 当人に相談することなしに、1971年 メインストリートに「エスクリ バー・デ・バラゲル通り | の名前を つけ、1974年には市の勲章を授与す ることに決めました。

この授与式は、聖ホセマリアが中米への旅行から帰ってきたころに予定されました。本人は気が進みませんでしたが、バルバストロ市民の気持ちを考慮したドン・アルバロたちに促されて出席を決めました。5月18日、ローマをたちマドリードを経

て、バルバストロ近郊にあるトレシ ウダッドに向かいました。その建設 工事はすでに5年を迎え、完成が間 近でした。教会内の祭壇画や彫刻、 独会前の広場の周りに建てられた見 を動した(写真)。双大の は中央の最後の日には、教会の地下に は中央の最後の日には、教会の地下の できたりにないてもらいました。

このように聖ホセマリアは元気満々のように見えますが、実はこのみ発に見えますが、実はこの発作と呼吸困難で倒れるということをのました。幸いすぐに回復したので、普通に予定をこなしたので金紀である日でした。その日には過ぎた今の日でした。その日には過ぎた今ものようだ。今も毎日ゼロなりと言っています。5

月22日、心臓発作が収まるとすぐ書いたメモには「あの世とこの世の間の幕はとても薄い。いつでも喜んで旅立てるように準備しておかねば」とありました。

尾崎明夫

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/sei-josemaria-78/ (2025/12/11)